

2月20日(火)

ことばは神であった

聖書朗読 ヨハネの福音書 7:37~52

役人たちは答えた。「あの人が話すように話した人は、いまだかつてありません。」
ヨハネ 7:46

両親の結婚60周年のお祝いに、私たちは湖畔での休暇を綿密に計画しました。ビュッフェを用意して、ケーキもきれいにデコレーションして、集まった子どもたち、孫たちのお祝いの言葉の瞬間をとらえられるよう、カメラをセッティングしました。ところが、いよいよカメラが回り始めたとき、近所の方が芝刈り機の電源を入れ、全ての会話がその音によってかき消されてしまったのです。私たちはとてもがっかりしました。映像だけでも残っていたのは嬉しかったのですが、期待していたのとはまるで違いました。

イエス様はいつも予想外のことをされる気がします。パリサイ人、祭司長たちは、イエス様を捕らえようとして役人たちを遣わしました。そんな状況でも、イエス様は、捕らえられることを心配するでもなく、半信半疑でいる群衆に語り続けられました。

次の場面で、役人たちはイエス様を捕えることができずに祭司長、パリサイ人たちのもとに、手ぶらで帰ってきて、「なぜ、あの人を連れて来なかったのか」と問い詰められます。役人たちは何とかして事態を説明しなくてはと、恐ろしいプレッシャーを感じたことでしょうか。いいえ。彼らは、確信を持って、神であるイエス様の存在を証したのです。イエス様を捕らえるはずだった者が、イエス様に捕らえられました。全く予想外の展開ではありませんか。

「あの人が話すように話した人は、いまだかつてありません」と役人たちが答えたのも当然です。彼らは、初めに神とともにおられた、人となられたことば、神様ご自身に会ったのです。

讚美歌 270

祈り 父よ。私たちがあなたに目を向け続けることができますように。あなたがこの世界を造られたことを覚え、私たちの予想を超えるあなたの働きに驚き続けることができますように。イエス様の御名によって。アーメン。
ニューメキシコ州 サンタフェ / クリスティン・マックラング

2月21日(水)

神様は私たちの心を知っておられる

聖書朗読 ヨハネの福音書 12:1~8

ですから、私の愛する兄弟たちよ。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が、主にあつておだでないことを知っているのですから。
コリント I 15:58

あなたが今まで受け取って一番光栄だと思ったものは何ですか。あなたは、それを受けるために何をして、どのように榮譽を頂きましたか。優秀作文を書いて盾やメダルをもらったり、あなたの描いた絵が最高名誉賞を受賞したりしたら、誰もが観られるように壁に飾ってあることでしょうか。もし誰かがその作品にケチをつけたら、あなたはどんな気持ちになるでしょうか。

人びとは、ラザロをよみがえらせたイエス様をたたえるために、豪華な夕食を用意しました。その場にどれだけ多くの人々がいたか分かりませんが、ラザロの家族とイエス様の忠実な弟子たちがいたことは確かです。マリヤは高価な香油をイエス様の足に塗って、イエス様の榮譽をたたえました。一方、ユダは、マリヤがなぜそのようなことをしたのかではなく、香油の値段だけを考えました。彼には、マリヤの行動が理解できず、彼女の行いを非難しました。しかし、イエス様は、マリヤの献身的な行いの真の価値を明らかにされ、評価されました。

私たちのなすべきことと、そうしなければならない理由がはっきりしているなら、私たちの目的は他の人の意見によってどうこうされるものではありません。一歩踏み出して正しいことを行おうとすることこそが主の道なのです。神様は私達が心をこめて行っているかをご存知です。

讚美歌 391

祈り 主よ、周りの人の理解を得られないときでも、愛すること、仕えることを続けることができるよう助けてください。私たちは全てのことをあなたの栄光のために行います。イエス様の御名によって。アーメン。

ジョージア州 マリエッタ
マージョリー・ギリス

2月22日(木)

わたしに従いなさい

聖書朗読 ヨハネの福音書 21:16~25

心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。

箴言 3:5~6

その朝、ガリラヤ湖畔で、使徒ペテロは、主イエス様を三度否定したことをまだ悔やんでいたかもしれません。イエス様は、この箇所、ペテロのことを『ヨハネの子シモン』と呼ばれました。イエス様は、“岩”を意味するペテロという名に、まだ彼が相応しくないことを知らせるために、そのように呼ばれたのだと言う人もいます。どちらにしろ、イエス様はペテロをそのように呼ばれたのです。

興味深いことに、イエス様はペテロに三度「あなたは私を愛しますか。」と尋ねられました。そして、その度に、ペテロに「わたしの小羊を飼いなさい。」と言われました。イエス様は三回お訊きになることによって、ペテロが三回否定したことを赦すとはっきり言われたのでしょうか。ペテロは、質問に答える度に、主への愛を確信しました。

イエス様はさらに、ペテロがどのような死に方をするかを予言されました。ペテロは振り返って、使徒ヨハネを見て、「主よ。この人はどうですか。」と尋ねました。イエス様は、ヨハネのことは心配しなくてよいと言われ、再びペテロに「あなたは、わたしに従いなさい。」と命じられました。この召しは、主に従う全ての人に向けられたものです。私たちは他の人が何を言おうが行おうが、主に従うのです。私たちは、ペテロが最後までイエス様に従ったことを知っています。私たちもペテロに倣(なら)いましょう。“変わらない確かな神の約束を信じよ。救い主により頼み、安きを得よ。”(編注:ウィリアム A. オグデン作曲の賛美歌より)

讚美歌 291

祈り 主よ、心からあなたにお従います。自分の十字架を負って、あなたの導きに従うことができますように。イエス様の御名によって。アーメン。

アーカンソー州 ファイエットビル
L. スコット・ゲイジ

2月23日(金)

新しい始まりの喜び

聖書朗読 使徒の働き 1:12~26

あなたがたは、羊のようにさまよっていましたが、今は、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰ったのです。 ペテロ I 2:25

ある説教者が、もしシャツの一番上のボタンを掛け違えてしまったら、最初からやり直すしか方法はないと言っていました。

運転中、間違った所で曲がってしまったと分かった時、「まあ、いいや、ここまで来てしまったし、このまま進もうか。」となるでしょうか。

放蕩息子の話が違う結末だったらと想像してみてください。遠い国で人生のどん底にある息子が「もう取り返しがつかないし、今さら家に帰るなんてあり得ない。こうなったらもう、ここに残って飢え死にしよう。」と考えたらどうでしょうか。

息子が帰った時、父親が大喜びで迎えたことから、息子にはやり直しのチャンスがあったのだと分かります。神様は、私たちがへりくだって、悔い改め、御心に従おうとするなら、必ず迎え入れてくださいます。

私たちがキリストに立ち返るとき、私たちの罪はキリストの血によって取り除かれます。その時に私たちは、新しい姿に変えられます。私たちの過去は赦され、神の家族の一員として、永遠の命を受け継ぐものとされるのです。

『だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました』(コリント II 5:17)

やり直すことができるとは、なんと素晴らしいことでしょう。贖(あがな)われ、生まれ変わり、新しくされるのです!

讚美歌 247

祈り 聖なる父よ、あなたの素晴らしい恵みと、あなたに立ち返ることがゆるされ、あなたが愛をもって迎えてくださることを感謝します。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

テキサス州 コマース
デイビッド・ギブソン

2月24日(土)

交わりを選ぶ

聖書朗読 使徒の働き 2:42~47

そして、一同の心に恐れが生じ、使徒たちによって多くの不思議としるしが行われた。信者となった者たちはみないっしょにいて、いっさいの物を共有にしていた。
使徒 2:43~44

最近、2021年の統計を読んだのですが、アメリカ男性の63%、女性の58%が“孤独”であると感じているそうです。「どういうことだろう。」と私は思いました。もしかしたら、それは、私たちが“共同体意識”を忘れてしまったからかもしれません。神様と教会には孤独に対する答えがあります。教会で私たちは、思いを、財産を、そして恵みを分かち合います。

初代クリスチャンたちは、互いに持ち物全てを共有していました。彼らは、自分たち信者の群れがしっかりと繋がっているためには、一番弱いところを支えることが大切だと知っていたのです。つまり、持ち物を共有することによって、あまり持っていない人を支えることによって、お互いが助け合い、本当の意味で主にある繋がりが生まれたのです。そして、初代教会は、与え合い共有し合うことで霊的に変えられることを経験しました。この変化は、キリストを中心にした関係の中で起こります。

この箇所書かれている霊的な変化を引き起こした2つの誘因は、教会が信仰の場であり、属する場所であったということです。信者が小グループの良さがわかると、その人はそこで感じられる親密な助け合う関係のすばらしさが分かるようになります。親しい交わりの中だと、神様が私たちを用いて、周りの人々に何をしようとしているのか、はっきりわかることがよくあります。あなたはそのような交わりを持っていますか。是非、主にあって成長できる交わりをしていきましょう。

讃美歌 354

祈り 主よ、失われている人たちに福音を宣べ伝えるにあたって、交わりの重要性を知ることができるとともに。信者として力を合わせ、キリストの大使として結束して働くことができますように。恵み深いイエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

サウスカロライナ州 コロンビア / マーク・ヤング

2月25日(日)

優先されるべき祈り

聖書朗読 使徒の働き 4:23~31

私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。

ピリピ 4:13

イエス様の十字架後の数週間、エルサレムにいたクリスチャンたちが、世界中が自分たちに敵対していると思ったとしても、もっともです。『ヘロデとポンテオ・ピラトは、異邦人やイスラエルの民といっしょに』(使徒 4:27)ひとつに組んで、イエス様を十字架にかけました。今や、同じ国家権力が、弟子たちをも抹殺しようとしていました。

ペテロとヨハネは、捕らえられ、肉体的に傷めつけられ脅されました。しかし、釈放されたふたりは、仲間のところへ行き、祭司長たちや長老たちが彼らに言ったことを残らず報告し、それから、みことばを読み、祈り始めました。

使徒4:27には、詩篇2篇から引用して、『主と、主に油をそそがれた者にと逆らう』者たちへの神様の裁きのことが書かれています。逆らう者たちの心を変えてくださいと神様に祈るのではなく(その方がこの場にふさわしい祈りであったはずですが)、イエス様に従う者たちが、すべてを支配されている主を信じ従い続けることができるようにと、より切実に祈りました。

時には、福音に反対する者のための祈りがふさわしい時があります。しかし、まずは、神にある人たちがいつも、みことばに導かれ、信仰によって保たれ、大胆に励むことができるようにと祈る必要があります。私たちが世の光として輝き続けてこそ、この世の闇を貫くことができるのです。

讃美歌 448

祈り 父であり、創造者であり、すべてを保たれる神様。私たちは、あなたに逆らっては、どのような権力も勝つことができずと知っています。この世のあなたに忠実な者に対して、彼らがいかに優位に立っているように見えたとしてもです。あなたへの奉仕にまっすぐ立つ力と勇気を与えてください。勝利の主イエス様の御名によって。アーメン。

カンザス州 オレイサ / リチャードE・ウルフ